Mieap 不活性化が胃癌の生物学的特性へ及ぼす影響について

※本研究は琉球大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得ています。

１．研究の対象

昭和６１年から令和２年までの３５年間に琉球大学病院第１外科にて胃癌で手術や検査を受けた方。

２．研究目的・方法

本研究では琉球大学病院で手術を受け摘出された胃癌の病理組織標本を用いてミトコンドリアの品質管理に関わる Mieap 遺伝子について研究を行います。Mieap 遺伝子は異常なミトコンドリアが細胞内に蓄積しない様に機能していますが、癌との関連も明らかになって来ました。様々な癌で Mieap 遺伝子が不活化している事や、動物実験からも癌の進展に関わる事が分かって来ました。しかし、Mieap 遺伝子の異常がヒトの癌にどのような役割を果たしているかはまだ分かっていません。そこで胃癌の病理組織標本を用いて Mieap　の発現と癌の進行度、転移、化学療法への反応性や予後との関連について検討します。

研究期間は 2024 年 3 月 31 日までです。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、性別、既往歴、腫瘍の進行度、病理検体番号、組織型、治療の効果、予後

試料：手術で摘出した組織

４．外部への試料・情報の提供

本研究の試料・情報は二次利用される事は無い。

５．研究組織

国立がん研究センター研究所腫瘍生物学分野　荒川博文

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、データ解析完了後や学会・論文発表後に、参加拒否のお申し出をなされた場合は対応しかねる事がございます。予めご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
琉球大学医学部保健学科　田邊恭佳
〒９０３－０２１５　沖縄県西原町字上原２０７番地
Tel: 098-895-3331(内線 2677)
Fax: 098-895-1434

研究責任者：
琉球大学医学部保健学科形態病理学分野　金城貴夫
〒９０３－０２１５　沖縄県西原町字上原２０７番地
Tel: 098-895-1278,
Fax: 098-895-1434
Mail: kinjotko@med.u-ryukyu.ac.jp

共同研究機関：
国立がん研究センター研究所腫瘍生物学分野　荒川博文